

【三芳町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「児童生徒1人1人が主体的に学びに向かう姿」

問題解決能力や情報活用能力などの汎用的な能力を育むため、1人1台端末によるクラウド活用を前提とした個別最適な学びと協働的な学びが一体的に展開された子どもを主語にする授業の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

(1) 端末及び通信ネットワーク整備

- ・令和2年度に町内全児童生徒及び教職員へ1人1台端末を整備
- ・令和3年度より学びの保障のための貸出用ポケットWi-Fiの予算措置
- ・令和4年度に統合型校務支援システムを導入
- ・令和4年度に町内全校へ大型提示装置（電子黒板）の配置
- ・定期的なネットワークのセルフチェック
- ・令和5年度にネットワークを更改
- ・オンライン授業の実施

(2) 学びの実践のための取組

- ・「三芳町ICTを活用した学びの推進〈三芳町GIGAスクール構想〉」の策定・周知
- ・学習ツール（ドリル、協働学習）の導入及び全校ICT支援員の配置
- ・ICT活用研究推進委員会による各校におけるICT活用状況の共有及び活用推進
- ・教職員対象のICTを活用した指導力向上のための研修の実施
- ・学校指導訪問等における指導
- ・教職員及び児童生徒を対象としたICT利用に関する意識調査と分析

(3) 成果と課題

【成果】

- 小中学校ともに、端末を週3回以上使用している児童生徒の割合が増えてきた。特に中学校では9割以上の生徒が週3回以上使用している。
- 児童生徒が「調べる場面」「まとめる場面」「発表する場面」での活用率が高い。インターネットを活用した探究学習や、スライドやドキュメント等のアプリケーションを利用し、学習したことをまとめ、プレゼンテーションで発表する活動が増えてきている。
- 教職員のICTの活用場面において、資料や児童生徒の意見を電子黒板に提示し、比較検討したり、話し合ったりする場面での活用が増えてきている。

【課題】

- ▲教職員と児童生徒及び児童生徒同士がやりとりする場面での端末の活用率に課題が見られた。協働的な学習の場面において、ICTを活用した学びを深めていく授業づ

くりについて、さらに研修し、よい事例については町全体で共有していけるようにしていく。

▲安定した通信環境の整備を進め、全校において必要とされるネットワーク速度の確保を目指す。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

教育政策「MOVEプラン『ICTの日常使いへの取組充実』」の推進

(取組の例)

- ・クラウドを効果的に活用した活動の促進（児童会・生徒会活動、連絡帳 等）
- ・読書通帳等のデジタル化による読書活動の促進

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

①教員研修の実施

②ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の授業実践の充実

(3) 学びの保障

- ・タブレット端末を活用した「心の健康観察」の実施
- ・希望する児童生徒への端末を活用した授業配信及び教育相談の実施
- ・日頃から端末の持ち帰りを推進